

～学びと育ちの連続性～

浦幌小中一貫CS便り

平成 29 年 9 月 20 日 (N0.97)



浦幌町教育委員会

浦幌町教育研究所

小中一貫CS推進協議会

(1) 8月30日、第2回小中一貫CS推進協議会が開催されました。

はじめに小中一貫CSを進めていく上での留意点を3点(①アクションプランに基づく活動の展開、②プラスαの取組、③教職員の

活動と家庭・地域の活動との連携について確認しました。

(2) 8月4日、三宅正誠総務係長が「全国CS研究大会 in 岐阜大会」に参加し、CSは子供たちの可能性を引き出す手法として有効である旨の報告をしました。

(3) 両学園の「1学期事業報告及び2～3学期事業計画」について交流・協議しました。

後日、推進協議会事務局で協議内容を検討・整理し、次の諸点について今後の小中一貫CS推進に生かしていくことが望ましいと考えました。

- ① 各部会などの実践を実施要項や企画書の形にして、次の担当者に引き継いでいく。
- ② 例えば教職員中心の「学習指導部」の活動と、家庭・地域中心の「学校教育支援部」の活動を連携して、学習サポートや漢字検定、英語検定などを行う。
- ③ 学園評価委員会の評価委員として、各部会の教職員も加わる。
- ④ 学校支援ボランティアなど外部との連絡窓口は、CS担当者や各部の部長などが中心となって調整する。



(先進地視察研修報告)

- ① 全国CS研究大会 in 岐阜
- ② 釧路市立中央小学校

(議 題)

- 1 学期事業報告及び
- 2～3 学期事業計画の交流

(備 考)

北海道教育大学札幌校大学院生の古市聖佳先生が協議会を参観されました。

第2回学校評価構築部会

8月28日(月)、東京から学校評価専門員の木幡敬史氏をお迎えして、「第2回学校評価構築部会」が開かれました。

各学園では、教育専門家の辛口のアドバイスをもとに、家庭学習の進め方やチャレンジ精神の向上、手伝いの習慣化、スマホ・ゲーム機の使用などについて「熟議」を重ね、改善方策を協議しました。

次年度以降も木幡先生のご指導を仰ぎたいという声が高まっています。